

「自動はかり」の検定がはじまります！

- ✓ この度の計量制度見直しにより、平成31年4月より順次、取引又は証明に使用される自動はかりを検定の対象とすることとなりました。
- ✓ 検定システムを構築するには、これらの「自動はかり」の全国的な設置状況の実態を把握し、検定に必要なリソースを検討するため、**全国に存在する自動はかりの数や種類などの最新の実態を把握する必要があります。**

自動はかりの主な器種

ホッパースケール



各種原料等をホッパーに流入している状態で質量を計量し、一定量（設定量）に達するとホッパーから下流へ排出。

【主な計量対象】
・穀物類、配合飼料等（大容量が中心）

充填用自動はかり



各種原料および製品を、一定の質量に分割して袋、缶、箱などの容器に充てん（ランダムな質量を取捨選択して目的の質量にするタイプもある）。

【主な計量対象】
・食品、粉体、飼料、薬品等（小容量中心）

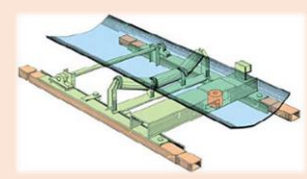
自動捕捉式はかり （キャッチウエイヤ）



各種箱物、袋物、缶などの包装形態で計量を行う。欠品等の判別や異物混入の選別する機能も備えているタイプもある。

【主な計量対象】
・加工食品、飲料、薬品等

コンベヤスケール



ベルトコンベヤで連続輸送される原料および製品の受け渡しの際に計量。

【主な計量対象】
・鉱物類、穀物類、飼料等

※今回、検定の対象となる「自動はかり」とは、物質の質量を計量する際に、「操作者がいない＝自動で」計量可能なはかりのことを指します。

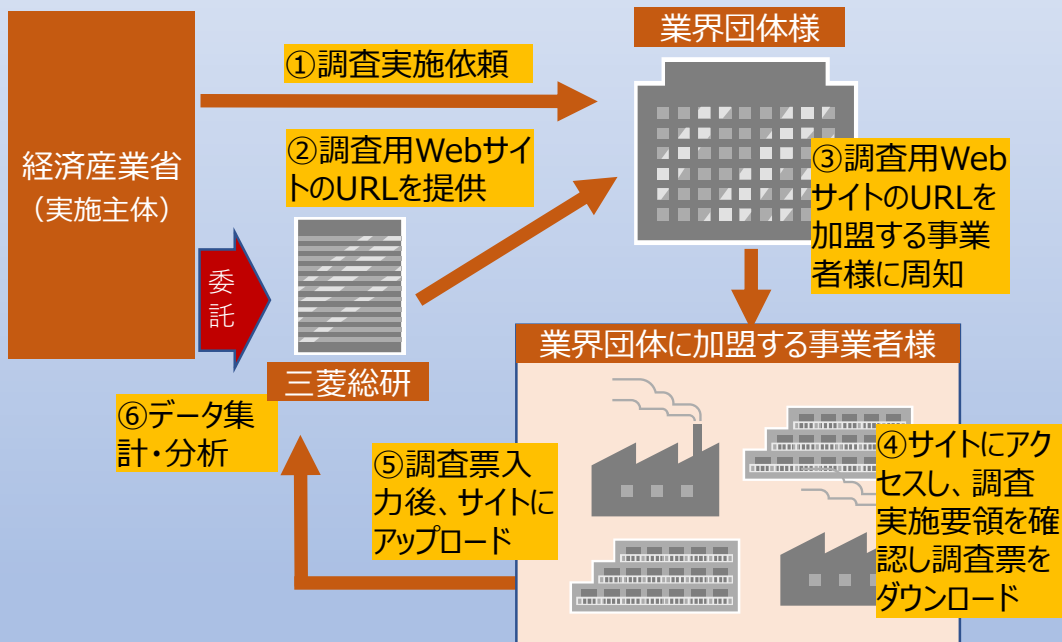
- ✓ そこで、**全国に存在する自動はかりの器種別台数・使用状況等を把握することを目的とし、全国の事業者様を対象として、「自動はかり実態調査」を実施**することとなりました。
- ✓ 実施枠組みは次のページをご覧ください。

自動はかり実態調査を実施いたします！

調査用Webサイト：https://rsch.jp/eqt4/?2017_keiryou パスワード：2017keiryou

※経済産業省計量行政ホームページ（http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/techno_infra/000_keiryou_minaoshi.html）からアクセス可能です

本調査は、経済産業省より委託を受けた株式会社三菱総合研究所が実施します。調査はインターネットを活用して行い（経済産業省ホームページからアクセスできます）、実施枠組みは以下のとおりです。



調査の流れ

①経済産業省から、全国の自動はかりを使用していると考えられる産業の業界団体様に、調査実施依頼をいたします。

②その際に、調査用に構築したWebサイトのURLを提供します。サイトには調査の趣旨やFAQ等も記載しています。

③業界団体様は、加盟する事業者様に対し、調査実施とWebサイトのURLを周知し、調査へのご協力を依頼してください。

④加盟する事業者様は、調査用サイトにアクセスし、調査実施要領を確認の上、調査票をダウンロードしてください。

⑤事業者様は、調査票に必要事項を入力後、ファイルを調査用サイトにアップロードしてください。これで調査は終了です。

⑥ご提出いただいたデータは三菱総合研究所が集計・分析し、報告書として取りまとめます。

調査票はエクセル形式の電子調査票です。自動はかりを保有していない事業者様は、Webサイトにアクセスし、保有していない旨と事業社名等を回答していただきます（調査票への入力は不要）。

ご多用中に恐縮ではございますが、何卒ご協力のほどお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社三菱総合研究所 自動はかり実態調査事務局

連絡先：E-mail: keiryou-survey@ml.mri.co.jp 電話：0120-315-166（電話受付は平日10時-17時まで）